

あすぴあ登録団体 & 市民活動団体の紹介

こんな活動をしています

Vol. 31

取材を希望する団体は
あすぴあまでお知らせください。
広報部会の部員が伺います!

東京ファシリテーションクラブ・小平

新たにあすぴあの登録団体になった「東京ファシリテーションクラブ・小平」の人はどんな活動をしているのか? 知りたくて、定例の会議に出かけてみました。

最近、ファシリテーターがイベントや会議の進行を担当していることが増えています。でも、ファシリテーターって、司会者なのか? 何をする人なのか? よくわかりません。それで、最初に、「ファシリテーション」についてグループメンバーの向山さんに聞きました。

「ファシリテーション」とは、「参加者みんなが納得できる話し合いの進め方」で、これを実践する人がファシリテーターだそうです。誰かが一人で話して、他の人が話せないようなことはしないで、みんなが自分の意見を話せて、問題点をみんなで話し合えるようにします。ただ意見を言い合っているだけでなく、前向きに次の行動を考えられるように進めます。終わったとき、みんなが「よかった」と思え



▲地域の防災研修でも話し合いを促進

NPO法人子ども未来研究所「あるあーと」

幼児とその親が、ビニールテープやクレヨン、毛糸など色々な素材を使って、自由に表現する楽しいアート活動を見学しました。



ブルーシートで敷き詰められた教室に、子どもたちが元気にやってくると、部屋に隠されているテープを宝探しのように見つけることから活動が始まりました。

大きな白い布を広げて、その上にテープで絵を描いたり、パステルスティックの粉を振りかけたり、大人も一緒ににぎやかにアート表現を繰り広げていきます。クラス主宰者からは何も強制されません。子ども

たちは色彩の変化に「秋みたい」「かわいい」「ママは本格的ね」「楽しい」などの声。さらに、毛糸やモールなど付け加えて、どんどん変わっていく作品に驚きました。

翌日、「あるあーと」を指導している岡村さんにお話を聞きました。主宰者の大石ノリコさんとは、アートワークセラピーの学校で出会ったそうで、内閣府所管生涯学習開発財団認定 アートワークセラピストを取得して、5年前から一緒にアートワークセラピストとして活動しているそうです。

「あるあーと」では、一般的な絵画教室のように、到達点を決めて作品を作っていくのではなく、自分らしい個性で表現し、楽しくアートを作っていくプロセスを受け止めていくそうです。上手下手ではなく、「素敵だね」などの言葉がけや、五感を刺激することで、脳や心の成長を促すそうです。その子がしたいことを充分にして、その日どんなことをしたか、子どもたちに聞いて、主宰者が感じたことを伝えて、承認するこ

とが大切だそうです。

子どもたちの中には、自分の居場所が出来て、笑顔が増えた子もいるそうです。また母親も、一緒に表現することで気持ちが楽になり、親しくなっていくそうです。

小学生向けの「こあっぴあーと」も主宰しています。岡村さんは「アートワークセラピーを通して、生きる力の根を育てることに貢献したい」と話しました。(安)



▲この後もアートはどんどん変化していききました

DATA

連絡先 ● aruart.kodomomirai@gmail.com (大石まで)
活動場所 ● 小平市民活動支援センターあすぴあ会議室
または近隣公民館
活動日 ● 月1回 日曜日 10時~12時

多胎児サークルこだついでん

赤ちゃん誕生は、家族にとっても嬉しく、幸せになる出来事です。それが双子ちゃん、三つ子ちゃんなら、喜びは倍々増。でも、それに伴う大変さは、妊娠期から始まって、出産、育児へとつながる大事業となります。そこで、当事者のみなさんがお互いに情報交換・交流しようと、昨年「多胎児サークルこだついでん」が誕生しました。

会結成は、2019年9月。双子育児の大変さを痛感した二上麻里子さん(現代表)と二人の仲間(現幹事:古川さん・北島さん)が、同じ経験をしている父母と語り合うサークルがほしい、と会を始めたのです。

「こだついでん」のブログに、二上さんが書いています。「単胎児だったら気軽に教えてもらえるような困りごと、多胎児の子育ては経験者が少ないため教えてもらえる機会がありません。」そこで「ないなら作ろう!」ということで、会を発足。その後、市に多胎児育児の支援についてのお願いをするなど活発に活動しています。子育ての体験はあっても、多胎児育児の体験者は少なく、子育て支援をする部署に、まず事情を分かってもらおうということでのお願いでした。

12月にはクリスマス会を開催、月2回はあちこちで楽しく集まろう、ということで、今は、地域センターや公民館が集まったり、こだはぐカフェに参加したりしているそうです。



今、とても必要としていることのひとつが、「ピアサポーター」。できれば多胎児育児の経験のある先輩に会をサポートしてもらって、会合の時などにちょっと手を借りたり、育児体験のアドバイスをしてもらったりという「助っ人」がぜひ欲しいということでした。(伊)

※活動の詳細は、こだついでんのブログで見られます。

DATA

Instagram ● @kodatwin
Twitter ● kodatwin
Facebook ● 多胎児サークル こだついでん
ブログアドレス ● https://ameblo.jp/kodatwin2019

